

## 日本銀行から見た現状

日本銀行 湯本 崇雄

### 教科書の中の日本銀行

多くの人々にとって、中学や高校の授業は、日本銀行について学ぶ数少ない機会である。しかし、教科書には、日本銀行の金融政策や業務に関して、事実と異なる記述が少なからずみられる。

例えば、金融政策については、主要な手段として公定歩合を説明している教科書が少なからずみられるほか、預金準備率操作が近年はほとんど使われていないことについても余り触れられていない。公開市場操作が近年主な手段になっている、と記述する教科書は増えてきたが、公開市場操作の狙いや具体的なしくみについて十分な理解が進んでいないように見受けられる。

また、金融政策以外でも、例えば「政府の銀行」の内容として、政府への貸付を挙げている教科書があるほか、為替介入を、日本銀行の固有の業務のように説明する記述もみられる。さらに、「最後の貸し手」を、個別金融機関を救済するための役割であるかのように説明するものもある。

以上のような実態を踏まえ、政策・業務運営に関する国民の理解を得ていくためにも、日本銀行としては、より一層広報活動に注力して参りたい。